

学生証番号: T		氏名:															
学習・教育目標	具体的な達成内容	履修科目	履修したセメスターに成績を記入								自己採点	備考(不可の場合は再履修計画)	達成度を保証するための科目				
			1	2	3	4	5	6	7	8							
(A)技術者倫理に基づく責任 世界における技術立国としての日本という立場をわきまえた上で、人類の共存共栄、地域社会の発展をともに考えるという技術者の使命と倫理を自覚し、地球環境や社会に配慮した適切な判断力のもとに機械設計を行う責任と能力を身に付ける。	(A-1)工学技術を社会の発展のために利用できる技術者としての倫理を自覚する。	機械工学セミナー														機械工学セミナー デザイン工学	
		デザイン工学															
	(A-2)機械設計において、環境負荷の低減や安全の重要性を自覚できる。	熱力学I															熱力学I 熱力学II 機械加工学 デザイン工学 機械工学実習
		熱力学II															
		機械加工学															
		デザイン工学															
		機械工学実習															
(B)事象の本質的理解と専門知識の応用 力学、数学等の専門基礎科目をベースに事象の本質を理解した上で、さらに専門科目に関して修得した知識や情報技術を使い、機械の設計や問題解決に応用することができる能力を身に付ける。	(B-1)各専門科目において、そのベースとなる数学、力学等を見直しながら本質的な理解力を身につける。	微積分学 B 1														左記の専門基礎科目、専門科目のうちの必修科目の単位取得	
		微積分学演習 B 1															
		線形代数学 B 1															
		線形代数学演習 B 1															
		物理学 B 力学入門 1															
		物理学演習 B 力学演習 1															
		基礎化学 A															
		微積分学 B 2															
		微積分学演習 B 2															
		線形代数学 B 2															
		線形代数学演習 B 2															
		物理学 B 力学入門 2															
		物理学演習 B 力学演習 2															
		電磁気学入門															
		微分方程式															
		微分方程式演習															
		工業数学															
		解析力学															
		基礎制御理論															
		工業数学															
機械振動学																	
基礎制御理論																	
機械設計製図																	
(B-2)情報技術(計算機やネットワークを利用する技術)を問題解決に応用できる。		情報処理(普通教育)														情報処理 プログラミング 機械工学実験 卒業研究	
		プログラミング															
		機械工学実験															
		数値計算法															
		卒業研究															
(B-3)専門科目のうち、基礎となる科目に関して、本質的な事柄の理解を身に付ける。		材料科学														材料科学 材料力学I 熱力学I 鉄鋼材料 解析力学 材料力学II 流体力学I 熱力学II 基礎制御理論 設計基礎論 流体力学演習 機械加工学 設計基礎論 機械振動学 流体力学II 塑性力学	
		材料力学I															
		熱力学I															
		鉄鋼材料															
		機械運動学															
		熱力学演習															
		材料力学演習															
		解析力学															
		材料力学															
		流体力学I															
		熱力学															
		基礎制御理論															
		設計基礎論															
		流体力学演習															
		機械加工学															
機械振動学																	
流体力学																	
塑性力学																	
材料強度学																	

学習・教育目標	具体的な達成内容	履修科目	履修したセメスターに成績を記入								自己採点	備考(不可の場合は再履修計画)	達成度を保証するための科目			
			1	2	3	4	5	6	7	8						
		基礎制御理論														
		伝熱工学														
		塑性加工														
		バイオメカニクス														
		熱流体工学														
		トライボロジ-														
(B-4)事象を観察・観測し、計測されたデータを正しく分析、評価することにより、一般化した結論を導き出せる。		計測基礎論													機械工学実験 計測基礎論 卒業研究	
		機械工学実験														
		卒業研究														
(C)論理的な思考力 事象の本質、問題の因果関係を理解した上で専門技術の知識を習得することにより、論理的な思考力を養成し、問題発見能力と問題解決能力を身に付ける。	(C-1)機械工学における諸問題を解決する能力を身に付ける。	材料力学演習													機械製図基礎 機械設計製図	
		熱力学演習														
		流体力学演習														
		機械製図基礎														
	機械設計製図															
(C-2)論理的な思考をもとに、自ら問題を発見できる能力を身に付ける。	デザイン工学														デザイン工学 卒業研究	
(D)システムデザイン能力 修得した専門知識を総合(シンセシス)することにより、社会から要求される問題を多面的に捉え、具体的な機械システムを設計、製作することができる能力を身に付ける。	(D-1)設計に要求される事項を取捨選択し、簡単な機械を設計できる能力を身に付ける。	機械システム入門													機械システム入門 材料力学I 熱力学I 鉄鋼材料 機械運動学 材料力学 流体力学I 熱力学 基礎制御理論 設計基礎論 非鉄金属材料 流体力学 機械製図基礎 基礎制御理論 デザイン工学 機械設計製図	
		材料力学I														
		熱力学I														
		鉄鋼材料														
		機械運動学														
		材料力学														
		流体力学I														
		熱力学														
		基礎制御理論														
		設計基礎論														
	非鉄金属材料															
	流体力学															
	機械製図基礎															
	基礎制御理論															
	デザイン工学															
機械設計製図																
(D-2)工作機械等を使用し、簡単な機械部品を製作することができる。	機械加工工学														機械加工工学 機械工学実習	
	機械工学実習															
(E)自己表現 自分の意思や主張を適切かつ論理的に表現するための情報収集力や記述力、口頭発表や質疑に対する応答等のプレゼンテーション能力と、国際社会に通用するコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	(E-1)専門分野における情報を収集する能力を身に付ける。	機械工学セミナー													機械工学セミナー 卒業研究	
		卒業研究														
	(E-2)自分の意思や主張をレポート等の文章で論理的に表現したり、口頭発表や質疑応答等で効果的なプレゼンテーションができる。	機械工学セミナー														機械工学セミナー 機械工学実験 デザイン工学 卒業研究
		機械工学実験														
		デザイン工学														
卒業研究																
(E-3)技術的な内容を、英語で説明することができる。	英語(普通教育)														卒業研究(論文に英文の概要を付ける)	
	英語(普通教育)															
	英語(普通教育)															
	英語(普通教育)															
(F)柔軟な思考力と計画的アプローチ (F-1)機械工学の範囲にとどまらず、問題解決のアプローチのために他分野の技術を習得する。 与えられた課題に対し、機械技術のみならず他分野からもアプローチできる柔軟な思考力を培う。また、アプローチを合理的、計画的かつ継続的に行う習慣を身に付ける。	(F-1)機械工学の範囲にとどまらず、問題解決のアプローチのために他分野の技術を習得する。	基礎化学 A													機械システム入門 卒業研究	
		機械システム入門														
		電磁気学入門														
		バイオメカニクス														
		トライボロジ-														
	卒業研究															
(F-2)与えられた課題を、計画的に遂行することができる。	機械工学実験														機械工学実験 卒業研究	
	卒業研究															
(F-3)自身のスキルアップのために、合理的かつ継続的に学習する習慣を身に付ける。	すべての専門科目														キャリア形成レポート(全学年でのレポート提出が卒業研究単位取得の条件)	
	キャリア形成レポート															